

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：都市計画課

施策名	都市計画・土地利用
政策名	快適な「暮らし」を造る
施策がめざす将来の姿	・市街地中心部ににぎわいがあり、生活施設が市民に身近で住みやすいまちになっています。

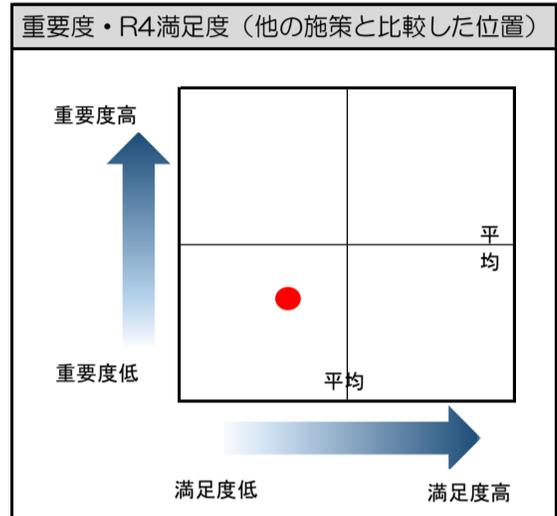
2 施策評価指標

成果指標名	単位	基準	令和4年度目標		令和9年度目標
居住誘導区域への転入人口	人	654	622		595
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	632	617	508	518	517

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度/単位 (%)
令和3年度
98.1

満足度（満足している市民の割合）/単位 (%)		
令和3年度	↓ DOWN	令和4年度
83.8		81.2



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

立地適正化計画、都市再生整備計画に基づき、居住誘導施策に取り組んでいるが、市街地中心部での人口減少に歯止めがかからない状況です。市街地中心部での都市再生整備計画によるハード整備を着実に進めるとともに、まちなかマルシェなどのにぎわい創出事業を展開し、中心市街地でのまちづくりを進めます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業名①：まちづくり計画事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
122,767	都市再生整備計画事業	↗	↗	R5年度は事業費を拡充し、遊歩道整備の進捗率を促進してまちなかめぐるルートをつなぎ、更なる中心市街地のにぎわい創出を目指します。	○

事務事業名②：にぎわい横丁（本町BASE）運営事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
28,969	にぎわい横丁（本町BASE）運営事業	↘	↗	新規チャレンジによる初出店、中心市街地での出店を増やすために、利用者の選定、経営相談・計画、空き店舗紹介、横断的にフォローアップする体制を作ります。また施設のリース契約終了後の活用方法について検討します。	○

事務事業名③古民家運営事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
6,342	古民家運営事業	↗	↗	直営による運営ではなく、民間のノウハウを活用すべく指定管理者による管理も検討していきます。	○